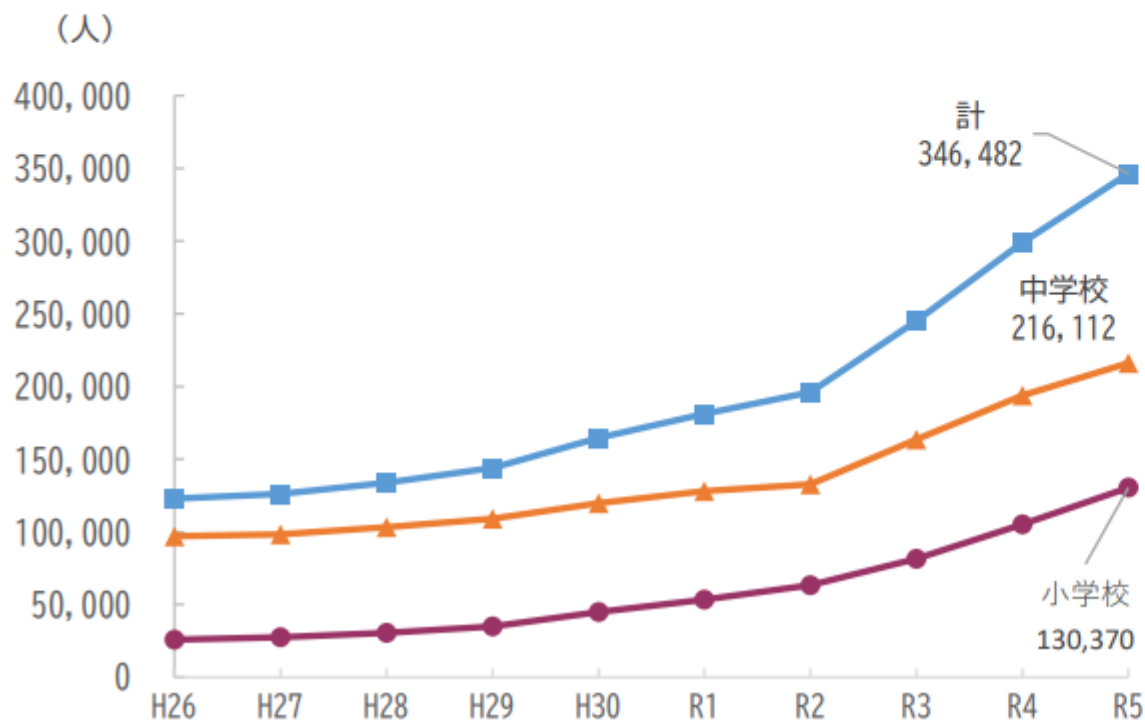


メタバースで 誰一人取り残されない 新時代の学び

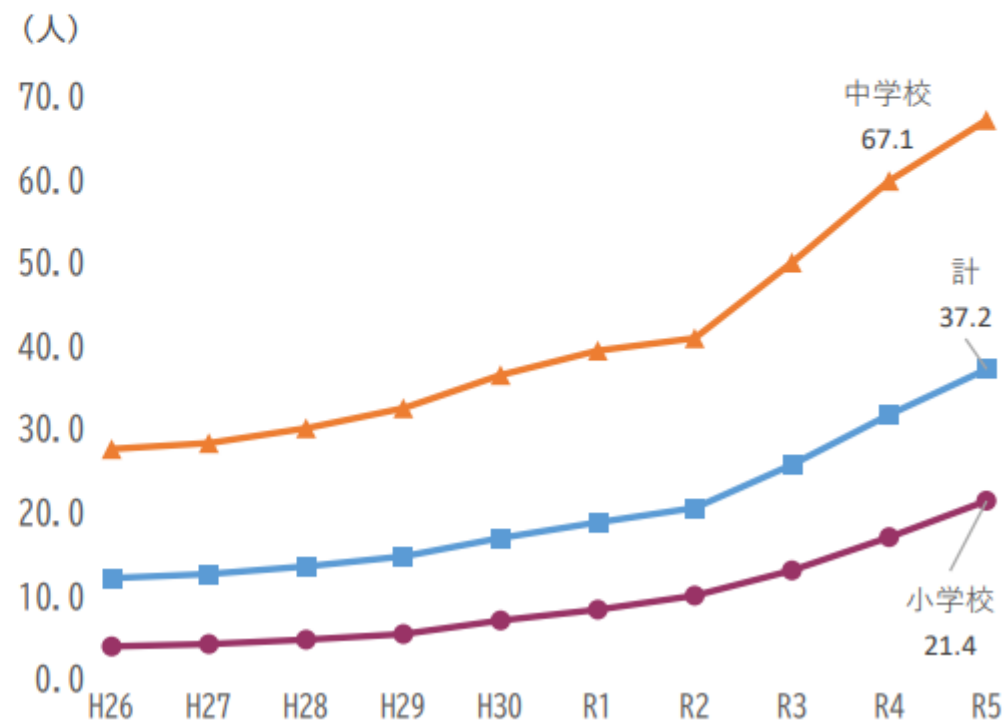
増加しつづける不登校児童生徒数の状況

- 小・中学校における長期欠席者のうち、不登校児童生徒数は346,482人(前年度299,048人)であり、児童生徒1,000人当たりの不登校児童生徒数は37.2人(前年度31.7人)。
- 不登校児童生徒数は11年連続で増加し、過去最多となっている。

不登校児童生徒数の推移



不登校児童生徒数の推移 (1,000人当たり不登校児童生徒数)



出展: 文部科学省「令和5年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要」
https://www.mext.go.jp/content/20241031-mxt_jidou02-100002753_2_2.pdf

誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策(COCOLOプラン)

不登校により学びにアクセスできない子供たちをゼロにすることを目指し、

1. 不登校の児童生徒全ての学びの場を確保し、学びたいと思った時に学べる環境を整える
2. 心の小さなSOSを見逃さず、「チーム学校」で支援する
3. 学校の風土の「見える化」を通じて、学校を「みんなが安心して学べる」場所にする

ことにより、誰一人取り残されない学びの保障を社会全体で実現するためのプランを、文部科学大臣の下、とりまとめ。

<引用> 文部科学省

【概要】「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策(COCOLOプラン)」(令和5年3月31日)
https://www.mext.go.jp/content/20230418-mxt_jidou02-000028870-bb.pdf

さいたま市様との3D教育メタバーース実証経緯

令和4年4月

不登校等児童生徒支援センター



誰一人取り残さず子どもたちを学びにつなげたいという
願いや思いを込め、令和4年4月からスタート

<参考>さいたま市教育委員会不登校等児童生徒支援センター(<https://growth.saitama-city.ed.jp/>)

Growthの活動で見えてきたこと

長期欠席となっている児童生徒にも
オンライン授業や個別学習等を通した知識習得だけでなく、
**「オンライン上での居場所や交流の『場』を確保し、
仲間と学びあう新たな学び舎」が必要！**



Teamsでは顔を出せない
双方向でのコミュニケーションの難しさなど

令和5年2月



NTT東日本

**仲間の存在を感じる学び合いの場として
「臨場感のあるメタバーース」を相談を頂く**

令和5年11月

令和5年度 次世代の学校・教育現場を見据えた先端技術・教育データの利活用推進事業(文部科学省)
先端技術の中核に据えた新たな学校(Super DX School)の設置・運営に関する実証



NTT
SmartConnect

3D教育メタバーース

3D教育メタバーズ採用の背景

当時、イベントやビジネス向け3Dメタバーズはあったものの教育向けの製品やサービスがなかった

単に学校のようなメタバーズ空間を作るだけでは、教育現場で活用するニーズを満たすことができない…

例えば、

- リアルな学校と同様に誰でも入れる空間ではなく、ID/passによるユーザー認証など**セキュアな空間**にしたい
- 出欠管理のために**ログ管理**をしたい
- メタバーズ空間での**いじめなどを抑止**したい
- GIGAスクール**タブレットのスペック**でも活用したい



令和5年8月 NTTスマートコネクにて

教育現場を想定し、現場の先生の声を活かした「3D教育メタバーズ」をサービス化

さいたま市様の取組みイメージ

Growth

社会的な自立を目指す新たな学びの場

オンライン授業/ホームルーム

情報コミュニケーション
知識習得の学び



学びの場(リアル)



肌でつながりを感じる
コミュニケーションと経験



学習状況に合わせた
個別最適な学び

個別学習



2D空間への登校

2D空間の教室

「不登校」といっても
1人1人状況やタイプは違う



Growthであれば通える子
オンライン授業でも自分を出せない子
興味のある分野や好きな授業も様々

3D教育メタバース

オンライン上の交流と
仲間と学びあう環境



3D教育メタバーズ活用の声

仲間の存在や 距離を実感できる臨場感

集会所で登壇した児童生徒の声
他者の存在を感じ緊張したが
良い経験になった



性別や容姿を気にせず自己表現ができる アバターを通じたコミュニケーション

YouTube「ミライストリーム」児童生徒の声

- ・色々な人と気軽に話せる
- ・対面だと緊張してしまうけれどメタバーズだと話せる

指導主事の先生からの声
仮想空間での体験が
児童生徒のリアルな場での活躍に
つながると期待



未来に広がるメタバースの可能性

同じような悩みや環境にいる仲間の存在を感じ、一緒に学びあえるメタバースは、場所や組織を超えたコミュニケーションによって、子供達が地域や社会など**より広い世界とつながっていく**可能性がある

● 仲間とのつながり

臨場感のある空間で同じような悩みや環境にいる仲間の存在を感じ一緒に学び合う

● 社会とのつながり

学校以外の組織（企業など）との交流を通じて、「未来の職業観の醸成など夢を育む学び」や、障害者との交流など「インクルーシブ社会の実現に向けた学び」へ

● 地域とのつながり

都市部と地方の児童生徒交流など地域を超えてつながることで、多様な人と関り、新たな価値観への気づきや対話的な深い学び合いへ



地域の価値創造企業へ

**SOCIAL
INNOVATION
パートナー**

NTT東日本グループ

